

地域連携センター

# NEWS

No.04

2015. 3



平成 26 年度福岡女子大学特別講演会「志賀島の歴史浪漫」

- 理事長・学長あいさつ .....2
- 地域連携センター長・地域交流部門長あいさつ .....2
- 女性生涯学習研究部門長あいさつ .....2
- 産学官地域連携部門長あいさつ .....2
- 平成 26 年度事業報告
- 地域交流部門
- 出前講義等.....3-4
- 教員免許状更新講習.....4
- 他機関との連携等.....5
- 地域との交流、イベントへの参加.....6
- 本学主催イベント.....7

**産学官地域連携部門**

- 開催した講演会・セミナー .....8-10
- 参加した展示会 .....10
- その他 .....11
- 共同研究・受託研究等に係る外部資金獲得の状況 .....11

**女性生涯学習研究部門**

- 公開講座・講演会一覧.....12
- 福岡女子大学公開講座.....13
- 連携公開講座・講演会.....14
- お知らせ.....15
- 平成 27 年度公開講座のご案内 .....16

# ごあいさつ



地域における福岡女子大学  
理事長・学長  
梶山 千里

福岡女子大学は、大正12年（1923年）に福岡県立女子専門学校として開校し、昭和25年（1950年）、学制改革により女子大学として再出発しました。その後、学部の改組、現在地への移転、公立大学法人化、新学部の開設などの改革を経て現在に至りました。また本学は、女子学生を対象とした高等教育機関として、よりよい社会づくりに貢献できる次代の女性リーダーの育成を目指しておりますが、同時に、地域社会と連携し、その学術・文化・生活の振興に中心的な役割を果たすことも、忘れてはならないミッションであると考えております。そこで、様々な分野から地域社会へ貢献できるよう地域連携センターを平成23年度に設置し、女性生涯学習研究部門、産学官地域連携部門、地域交流部門の3部門により、各種事業に取り組んでまいりました。

発足後4年を経過した地域連携センターの1年間の活動をまとめた地域連携センターニュースをお届けいたします。これからも、地域社会に開かれた大学として努力してまいります。



## 新施設と共にさらなる飛躍を

地域連携センター長・地域交流部門長  
副学長・国際文理学部 環境科学科 教授 吉村 利夫

地域連携センターが誕生して4年が経過しました。手前味噌ながら、女性生涯学習研究、産学官地域連携、地域交流のそれぞれの分野で、地域の皆様に多少なりともお役に立てているのではないかと感じております。センター発足当初から関わってきたものとしましては、感慨もひとしおです。また、昨年4月に新しい建物が誕生し、この1年間は新鮮な気持ちで各種の催しを開くことができました。学生が自主的に開始した「なでしこキッズスクール」は、地域の小学生と大学生とを結ぶとても意義深い活動だと思えます。まだまだ発展途上の地域連携センターですが、学生に負けずに地域のお役に立てる活動を進めていく所存です。引き続きよろしくご願い申し上げます。



## 人生を豊かに過ごされる皆様へ

女性生涯学習研究部門長  
国際文理学部 環境科学科 教授 山田 真知子

女性生涯学習部門は、「女性（人）の生涯にわたる学びの活動」をご支援することを目的に発足いたしました。昨年建設された明るい図書館には、ノーベル平和賞にも輝いたマララさんや、特別講演会でお招きしたベニシアさんの著書なども取り揃えています。講演会「志賀島の歴史浪漫」を同窓会と共催で行った他、歴史・文学・健康・食生活・人生・環境・英語に関わる講座を、福岡県立3大学や東部地域大学で連携して、また当大学独自で開催し、その数は平成26年度には30に及びました。来年度には、グローバルをテーマとした講座も予定しています。なお、当大学を会場として行うこれらの開催時には、託児室も開室しています。皆様、この快適な学び舎に、是非、何度もお越しください。



## 産学官地域連携活動を振り返って

産学官地域連携部門長  
国際文理学部 食・健康学科 准教授 石川 洋哉

「女子大では、どの様な研究活動が行われているのでしょうか？」といった問合せをよく受けます。社会への積極的な情報発信が強く求められています。本部門では、技術交流会「我々のくらしとPM2.5」（85名）、連携セミナー「食と健康を考える2014」（59名）を開催、エコ・ベンチャー・メッセ2014への出展（人気ブース3位）など活発に活動を行ってきました。特に本年度は、張先生に技術交流会でご講演、吉田先生に「東部地域大学提携事業」を行って頂くなど国際教養学科の先生にも積極的に関わって頂きました。また、教員データブックを発行し、今後さらに積極的に研究活動をアピールしたいと考えています。最後に、対応頂いた関係各位、センター事務職員の皆様に心より感謝申し上げます。

# 地域交流部門

地域交流部門では、地域との交流を大切にしております。同時に、地域ニーズの把握に努め、本学の持つ知的資源と地域ニーズのマッチング等の事業を展開することで、地域の活性化に寄与してまいります。

## 出前講義等

### 1. 出前講義

	開催日	学校名	学年	人数	教員名	内容
1	7月 9日 (水)	福岡県立城南高等学校	2	18	深町 朋子	日本の面積は世界第何位？—海と日本と国際法—
2	12日 (土)	福岡常葉高等学校	1、2	31	村長 祥子	英語の歴史
3	17日 (木)	福岡県公立古賀竟成館高等学校	1、2	37	橋本 直幸	外国人はどうやって日本語を習得するのか
4	17日 (木)	福岡県公立古賀竟成館高等学校	1、2	42	橋本 直幸	外国人はどうやって日本語を習得するのか
5	30日 (水)	福岡県立八女高等学校	1、2	17	水元 芳	国際食文化論
6	8月 23日 (土)	福岡工業大学附属城東高等学校	1	28	山田真知子	生き物を用いた海の健康診断
7	10月 16日 (木)	熊本県立八代清流高等学校	2、3	34	濱田 俊	脳に必要なビタミンの話
8	16日 (木)	熊本県立八代清流高等学校	2、3	34	濱田 俊	脳に必要なビタミンの話
9	18日 (土)	博多高等学校	2	50	宮崎 聖子	お隣の国、台湾を知ろう
10	21日 (火)	福岡県立鞍手高等学校	1	33	和栗 百恵	グローバル社会における異文化理解
11	28日 (火)	福岡県立新宮高等学校	2	39	向井 剛	英語のリズムとイントネーション指導
12	11月 6日 (木)	久留米信愛女学院高等学校	2	18	バスマシ・ジャヤセーナ	国際社会における日本の役割
13	6日 (木)	福岡県立糸島高等学校	2	30	橋本 直幸	外国人はどうやって日本語を習得するのか
14	7日 (金)	福岡県立博多青松高等学校	1～3	27	中村 強	栄養とは？—消化・吸収について—
15	12日 (水)	福岡県立伝習館高等学校	1、2	27	月野 文子	万葉のユーモア
16	13日 (木)	福岡県立筑前高等学校	2	21	坂本 浩一	日本語とコミュニケーション文化
17	17日 (月)	福岡県立春日高等学校	2	40	堀次喜代明	グローバル化と日本の会社
18	12月 22日 (月)	筑紫女学園高等学校	1～3	39	片桐 義範	チーム医療で取り組む栄養管理
19	2月 3日 (火)	福岡県立香住丘高等学校	2	27	森 邦昭	新しい学校教育の考え方と学ぶことの意味
20	3日 (火)	福岡県立香住丘高等学校	2	26	深町 朋子	日本の面積は世界第何位？—海と日本と国際法—
21	3日 (火)	福岡県立香住丘高等学校	2	32	バスマシ・ジャヤセーナ	国際社会における日本の役割
22	3日 (火)	福岡県立香住丘高等学校	2	25	村長 祥子	英語の歴史
23	20日 (金)	福岡県立福岡中央高等学校	2	31	和栗 百恵	大学で学ぶことについて
24	20日 (金)	福岡県立福岡中央高等学校	2	16	片桐 義範	チーム医療で取り組む栄養管理
25	3月 5日 (木)	福岡雙葉高等学校	2	100	吉村 利夫	紙おむつを化学の目で見る



2月3日(火)  
福岡県立香住丘高等学校  
出前講義 (p.3)



9月10日(水)～12日(金)  
福岡市立香椎第2中学校  
職場体験学習 (p.4)



9月20日(土)  
福岡市立城香中学校  
城香フェスタ (p.4)



8月2日(土)、4日(月)～6日(水)【国語】  
8月4日(月)～6日(水)【理科】  
8月8日(金)、8月10日(日)、8月16日(土)【栄養】  
教員免許状更新講習 (p.4)



12月5日(金)  
福岡県立香住丘高等学校 SSH  
平成26年度 課題研究発表会・研修成果報告会 (p.4)

# 地域交流部門

## 2. スーパーサイエンスハイスクール (SSH)\*

福岡県立香住丘高等学校

	実施日	学年	人数	教員名	内 容
1	4月 23日 (水)	2	39	山田真知子 田村 典明 佐藤 一紀 池田 宜弘	事前学習
2	4月 30日 (水)	2	19	山田真知子 大坪 蘭子	アサリは多量の赤潮生物を食べて海水を浄化するのに、何故、メタボにならないのか?!
3	4月 30日 (水)	2	20	佐藤 一紀 山口 容子	ヨウ素呈色法による唾液アミラーゼ作用の測定
4	5月 7日 (水)	2	19	田村 典明 大坪 蘭子	光合成：光エネルギーによって駆動される電子の流れを調べる。
5	5月 7日 (水)	2	20	池田 宜弘	溶解熱を測定する
6	5月 21日 (水)	2	39	松尾 亮太 猪股 伸幸 馬 昌珍 黒木 昌一	事前学習
7	6月 4日 (水)	2	19	猪股 伸幸	キイロショウジョウバエ突然変異体の観察
8	6月 4日 (水)	2	20	馬 昌珍	火力発電モデル実験と排ガスの測定
9	6月 11日 (水)	2	19	松尾 亮太 美濃部純子	ナメクジの学習行動
10	6月 11日 (水)	2	20	黒木 昌一	フラクタル次元を測る。

福岡県立小倉高等学校

	実施日	学年	人数	教員名	内 容
1	4月~3月	2	8	池田 宜弘	SS 環境科学研究会生徒の研究指導 (期間：平成 26 年 4 月~平成 27 年 3 月)
2	7月 2日 (水)	2	20	田村 典明	SSH 体験学習事前学習会
3	8月 1日 (金)	2	20	田村 典明 大坪 蘭子	SSH 体験学習：光合成：光エネルギーによって駆動される電子の流れを調べる。

## 3. その他

高等学校

	実施日	学校名	内 容
1	5月 1日 (木)	福岡県立育徳館高等学校	本学国際教養学科 大住 圭介教授が開校記念式典において「私の人生とこれからの社会~これからの社会の中で、個人の強みをどのように活かしたら良いか」という表題で講演
2	5月 31日 (土)	福岡県立宗像高等学校	本学環境科学科 馬 昌珍准教授が「平成 26 年度文化祭サイエンスショー」の実験アドバイザーとして参加
3	12月 5日 (金)	福岡県立香住丘高等学校	「スーパーサイエンスハイスクール 平成 26 年度 課題研究発表会・研修成果報告会」(共催)、(本学学生会館 2 階大ホール・地域連携センターセミナー室にて開催)
4	3月 3日 (火)	福岡県立香住丘高等学校	WJC 留学生 (4 名) が SSH 海外研修 (高校 2 年生 10 名が参加) の事前学習に参加

中学校

	実施日	学校名	教員名	内 容
1	7月 15日 (火)	福岡教育大学附属福岡中学校	今井 明	「総合的な学習の時間」校外探究において「百人一首」の探究について指導
2	9月 10日 (水) ~12日 (金)	福岡市立香椎第 2 中学校	吉村 利夫 (生活環境材料学研究室) 石川 洋哉 (食品学研究室) 松尾 亮太 (神経科学研究室)	職場体験学習 (福岡女子大学で受入) 各研究室にて実験準備補助、生協 J ショップ (売店) 業務補助等 9月 10日 (水)：図書館、生活環境材料学研究室 9月 11日 (木)：食品学研究室、神経科学研究室 9月 12日 (金)：生協 J ショップ、地域連携センター
3	9月 24日 (水) ~26日 (金)	福岡市立香椎第 3 中学校	金崎 良三 (スポーツ科学研究室) 石川 洋哉 (食品学研究室) 吉村 利夫 (生活環境材料学研究室)	職場体験学習 (福岡女子大学で受入) 各研究室にて実験準備補助、生協 J ショップ (売店) 業務補助等 9月 24日 (水)：図書館、スポーツ科学研究室 9月 25日 (木)：食品学研究室、生活環境材料学研究室 9月 26日 (金)：生協 J ショップ、地域連携センター
4	9月 20日 (土)	福岡市立城香中学校	チョウドリ マハブブル アロム	城香フェスタ「もっと知りたいアジア - パングラデシュ」という表題で講演
5	10月 14日 (火)	山口県立下関中等教育学校	和栗 百恵	講演「将来を見据えて 3 回生でつけておくべき学びの力」 (3 回生 113 名を対象に山口県立下関中等教育学校で講演)
6	1月 23日 (金)	福岡市立香椎第 3 中学校	藤岡留美子	「環境・福祉」学習：「季節と衣服の関係」のインタビュー (総合的な学習の時間) (1 年生 3 名を福岡女子大学で受入)

## 教員免許状更新講習

教員免許更新制の免許状更新講習として、文部科学大臣の認定を受けて、選択の 3 科目 (国語、理科、栄養) に  
ついて、次のとおり開設しました。(参加者延べ 196 名)

### 1. 国語 時間数：6 時間 実施場所：地域連携センターセミナー室

	実施日	タイトル	担当講師
1	8月 2日 (土)	「国語」教材の購読 I	月野 文子 (福岡女子大学国際文理学部教授) 工藤 重矩 (福岡女子大学客員教授)
2	8月 4日 (月)	「国語」教材の購読 II	今井 明 (福岡女子大学国際文理学部教授) 大久保順子 (福岡女子大学国際文理学部准教授)
3	8月 5日 (火)	「国語」教材への視点	橋本 直幸 (福岡女子大学国際文理学部講師) 坂本 浩一 (福岡女子大学国際文理学部准教授)
4	8月 6日 (水)	境界を超える「文学」・「歴史」・「ことば」	渡邊 俊 (福岡女子大学国際文理学部講師) 今井 明 (福岡女子大学国際文理学部教授) 矢野 準 (福岡女子大学国際文理学部教授)

### 2. 理科 時間数：6 時間 実施場所：地域連携センターセミナー室、情報処理演習室他

	実施日	タイトル	担当講師
1	8月 4日 (月)	環境負荷の少ない生活材料と環境に配慮した循環型社会の必要性	吉村 利夫 (福岡女子大学国際文理学部教授) 野馬 幸生 (福岡女子大学国際文理学部教授)
2	8月 5日 (火)	環境が人の健康や生物の発生に与える影響を考える	大中 忠勝 (福岡女子大学国際文理学部教授) 弓削 昌弘 (福岡女子大学国際文理学部准教授)
3	8月 6日 (水)	環境を経済と数理工学的視点から理解する	嶋田 大作 (福岡女子大学国際文理学部講師) 藤岡 薫 (福岡女子大学国際文理学部講師)

### 3. 栄養 時間数：6 時間 実施場所：研究棟 A705 教室

	実施日	タイトル	担当講師
1	8月 8日 (金)	食指導の実践に生かす栄養学的・解剖生理学的基礎	中村 強 (福岡女子大学国際文理学部教授) 濱田 俊 (福岡女子大学国際文理学部教授)
2	8月 10日 (日)	学校における食の安全確保と食品の活用法	石川 洋哉 (福岡女子大学国際文理学部准教授) 舟木 淳子 (福岡女子大学国際文理学部准教授) 片桐 義範 (福岡女子大学国際文理学部准教授) 高橋 徹 (福岡女子大学国際文理学部准教授)
3	8月 16日 (土)	学校における食育の推進と学校内外の連携協力についての理解	沖田 千代 (福岡女子大学国際文理学部教授) 早淵 仁美 (福岡女子大学国際文理学部教授)

\*SSH = 文部科学省スーパーサイエンスハイスクール

## 他機関との連携等

### 東部地域大学連携（福岡女子大学・九州産業大学・福岡工業大学）の学生活動

東部地域大学連携協定は、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的として、平成 23 年度に締結したものです。連携の一環として、学生による地域との交流活動も行っています。

#### 〇飲酒運転撲滅キャンペーン

日 時：8 月 25 日（月）朝  
場 所：JR 香椎駅、JR 九産大前駅、JR 福工大前駅、JR 千早駅  
参加者：10 名（学生 10 名）※本学学生のみ  
内 容：福岡県東警察署と連携し、福岡女子大学、九州産業大学、福岡工業大学の学生が、各大学の JR 最寄駅及び千早駅で飲酒運転撲滅の啓発活動を行いました。

#### 〇交通安全キャンペーン

日 時：12 月 11 日（木）15:30～  
場 所：イオンモール香椎浜  
参加者：4 名（学生 4 名）※本学学生のみ  
内 容：福岡県東警察署と連携し、福岡女子大学、九州産業大学、福岡工業大学の学生が、交通安全啓発活動を行いました。



飲酒運転撲滅キャンペーンの様子

#### 〇クリーン大作戦

日 時：2 月 20 日（金）13:00～  
場 所：福岡女子大学、九州産業大学、福岡工業大学周辺の 3 地域  
参加者：9 名（学生 7 名、教職員 2 名）※本学関係者のみ  
内 容：各大学の学生が地域の方々と一緒に清掃しました。



クリーン大作戦の様子

### 連携協定に基づく福津市との連携（学生）

#### 〇郷育カレッジ開講式 郷育のつどい

日 時：7 月 5 日（土）13:00～16:15  
場 所：福津市中央公民館ホール  
内 容：本学放送サークルがステージプログラムの司会を担当しました。

#### 〇郷育カレッジ

①日 時：12 月 21 日（日）10:00～13:00  
場 所：ふくとびあ もりもりキッチン、わくわくルーム  
内 容：本学の留学生が講師「作ろう！ベトナム料理」に講師として参加しました。  
②日 時：1 月 9 日（金）10:30～13:30  
場 所：福岡女子大学  
内 容：受講生の方に本学にお越しいただき、本学の学生が郷育カレッジの一講座「女子大生の企画に参加しよう！」を担当しました。



#### 〇あんずの里市（福津市勝浦）との連携事業

日 時：隔週 16:30～18:30  
場 所：福岡女子大学 地域連携センター入口付近  
内 容：生産者の方との交流及び旬の野菜販売、手作りお菓子、加工品、花卉等の販売を行いました。

#### 香椎商工連盟主催

### 第 2 回食べ飲みウォーク「遊バル香椎」

日 程：11 月 18 日（火）～20 日（木）  
場 所：福岡市東区香椎校区  
参加者：8 名（学生 8 名）

香椎のお店をはしごして楽しむイベント「遊バル香椎」が開催され、本学学生が、事前のチケット販売と当日の案内役のアルバイトとして参加しました。地域の魅力を発信しようとする取組みに参加させていただき、学生にとって貴重な経験となりました。

教職員も事前に購入したチケットにより、香椎のお店のスイーツなどを楽しみました。



事前のチケット販売の様子



遊バル香椎当日の様子

#### 福岡市香住丘公民館共催

### 留学生と地域の皆さんとのそば打ち体験教室

日 時：1 月 11 日（日）10:00～12:30  
場 所：福岡市香住丘公民館  
参加者：19 名（WJC 留学生 16 名、教職員 3 名）

福岡市香住丘公民館と共催し、平成 24 年度から今年度で 3 回目の開催となりました。本学から、WJC 留学生 16 名が参加しました。これは、そば打ちという日本の文化体験を通して、地域の方々と留学生とが楽しく交流を深めることを目的としています。

そば打ちに参加した本学 WJC プログラム\*で学ぶ留学生は、福岡そばの会の皆様の指導の下、熱心にそば打ちに取り組みました。また、打ちたてのおいしいそばを味わいながら、地域の方々との交流を楽しみました。

\* WJC プログラム = The World of Japanese Contemporary Culture Program (外国人留学生向けの短期留学プログラム)



### 連携協定に基づく福津市との連携（教員）

#### 〇コミュニティ・スクール神興東

期 間：平成 23～28 年度事業  
場 所：福津市立神興東小学校  
教 員：早刈 仁美（国際文理学部教授）  
内 容：子どもたちの健全な生活習慣の形成を目的に、早寝・早起き・朝ごはんと健康状態やお手伝いの状況を調査し、食育の普及を図り、その経過を調査し成果を検証します。また、保護者を対象に食育講演会、子どもたちを対象に食育活動を実施します。

#### 〇福津市委員等

①福津市食育推進審議会  
教 員：福津市食育推進審議会会長 水元 芳（国際文理学部准教授）  
期 間：平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日  
②福津市環境審議会  
教 員：学識経験者委員 山田 真知子（国際文理学部教授）  
日 時：第 16 回 平成 26 年 8 月 28 日（木）15:00～17:00、  
第 17 回 平成 26 年 12 月 11 日（木）13:30～17:00

#### 〇親子でなぞとき理科実験教室

日 時：平成 26 年 7 月 27 日（日）13:30～15:30  
場 所：福岡女子大学  
教 員：吉村 利夫（国際文理学部教授）  
内 容：福津市と本学女性研究者支援室とのコラボ企画として、福津市から 14 組 30 名の親子にご参加いただき、本学の学生 5 名が実験指導を担当しました。

#### 〇理系女子のススメ

日 時：平成 26 年 11 月 2 日（日）10:00～14:00  
場 所：福岡女子大学  
教 員：吉村 利夫（国際文理学部教授）  
内 容：本学の学園祭に合わせて、福津市と本学女性研究者支援室とのコラボ企画として、福津市から保護者同伴 4 組、中高生のみ 6 名、高校教師 1 名の計 15 名にご参加いただき、本学の学生 3 名が実験指導を担当しました。

# 地域交流部門

## 地域との交流、イベントへの参加

### 香住丘校区防犯パトロール（通年）

日 時：毎月第 3 金曜日 20:00～20:50  
場 所：福岡市東区香住丘校区

本学が位置する福岡市東区香住丘校区では、校区の安全のため、毎月第 3 金曜日に、校区の防犯パトロールが行われています。校区内を 3 ルートに分かれ、歩きながらパトロールをします。パトロールでは、地域の方などベテランの方に先導していただけます。

本学は、平成 24 年 1 月から、寮生である 1 年生を中心に、パトロールに参加しています。平成 26 年度は、本学学生、留学生、教職員延べ 45 名が参加しました。



### 香住丘校区のウォーキング大会

日 程：5 月 11 日（日）  
場 所：〔往路〕東体育館（準備体操）→片男佐橋→アイランドシティ中央公園（昼食）／〔復路〕アイランドシティ中央公園→あいたか橋→香住丘公民館（整理体操）

香住丘校区のウォーキング大会に本学の教職員 2 名が参加しました。往路は、福岡市立東体育館を出発し、「片男佐橋」を渡って景色の良い海岸線を歩いた後、アイランドシティ中央公園にある「ぐりんぐりん（蘭や蝶などを展示）」を見学しました。復路は、平成 25 年 3 月に開通した「あいたか橋」（アイランドシティと香住ヶ丘とをつなぐ海上遊歩道。全長 430m、幅 4m）を通って公民館に戻りました。地域の方々と一緒にひとときを過ごすことができました。



### 高齢者と小さな子どものふれあい広場

日 程：5 月 23 日（金）  
場 所：かしいかえんイベント会場

本学の音楽サークル「JaM Bang!」が演奏を行いました。メンバーは、イベント会場のステージで 3 曲を披露し、アンコールに応じて 1 曲を演奏しました。参加者の皆様も楽しそうに演奏を聴かれていました。



### 香住丘校区夏祭り

日 程：7 月 26 日（土）  
場 所：香椎第 2 中学校グラウンド

香椎第 2 中学校グラウンドにおいて、香住丘校区の夏祭りが開催されました。本学からは、キャンドルナイト準備・受付業務に 5 名の学生が参加しました。また、「だんだんボックス学生実行委員会」と「八百屋女子大」が、缶バッジ・かき氷や野菜販売のお店を出店し、大盛況でした。夜の夏祭りには、約 25 名の学生・留学生が浴衣姿で



参加しました。会場では、きれいなキャンドルと昔ながらのお祭りの雰囲気を楽しむことができました。香住丘公民館の方々並びに地域の皆様には、浴衣の貸出及び着付けにて大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

### 照葉校区夏祭り

日 程：8 月 2 日（土）  
場 所：アイランドシティ外周緑地

照葉校区の子ども会、アイランドシティ・アーバンデザインセンターと共同で「ランブレード作りと巨大シャボン玉体験」を実施しました。本学の国際文理学部環境科学科の学生 3 名が参加し、子どもたちのランブレード作りを指導しました。事前に食用油から作成したろうそくとセットにして、かわいい照明キットができました。



### アイランドシティ こどもっとだいがくさい

日 程：9 月 6 日（土）、7 日（日）  
場 所：アイランドシティ・アーバンデザインセンター

「こどもっとだいがくさい」にあわせて、アイランドシティ・アーバンデザインセンターで開催された「巨人と小人になろう！」に本学の国際文理学部環境科学科の学生 2 名が参加しました。マイクロスコープを使い、小人の目線で身の回りのものを観察しました。参加した子どもさんや保護者の皆さんは、葉っぱやお札、印刷物などを観察し、歓声を上げていました。



### 世界一行きたい科学広場 in 宗像

日 程：8 月 9 日（土）  
場 所：宗像ユリックス

本学の国際文理学部環境科学科の学生 2 名が参加し、「紙おむつの中身を調べよう」のブースを出展しました。



多くの小学生の皆さんに訪れて頂き、たくさん体験してもらいました。理科実験や物づくりの楽しさを実感して頂けたのではないかと思います。



### 福岡市立老人福祉センター東香園 演奏会

日 程：2 月 1 日（日）  
場 所：福岡市立老人福祉センター東香園

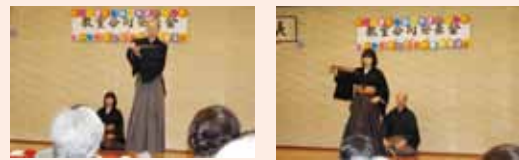
本学の音楽サークル「JaM Bang!」が演奏会を行いました。メンバーは、大広間のステージで 6 曲を披露しました。利用者の皆様も楽しそうに演奏を聴かれていました。



### 福岡市立老人福祉センター東香園 教室合同発表会

日 程：10 月 31 日（金）、11 月 1 日（土）  
場 所：福岡市立老人福祉センター東香園

第 1 日目は、大広間で保育園児の合唱や、フラダンスなどが披露されました。本学からは、国際文理学部国際教養学科のホルスト准教授と国際教養学科 1 年生の村田 七生さんが、それぞれ能（観世流）の仕舞「鱗丸」と「鶴亀」を披露し、会場から盛んな拍手を頂きました。東香園の行事への本学教員の出演は今回が 3 回目となりますが、今後も行事に参加させていただき、地域の皆様との交流が深められればと思います。



## 本学主催イベント

### なでしこキッズスクール（通年）

場 所：福岡女子大学

日程、参加サークル

- 6月21日（土）開校式・「えころしえ」 身近にできる環境への取り組みについて勉強しました。
- 7月19日（土）「バドミントン部」一緒にバドミントンを楽しみました。
- 9月27日（土）「裏千家茶道部」茶室でお茶会を体験、茶室のつくり、道具、作法などを学びました。
- 10月11日（土）「民族舞踊部」一緒に楽しく踊りました。
- 11月15日（土）「文芸部」かるた、絵本の読聴かせ、紙芝居などを楽しみました。
- 12月6日（土）「雑貨工房」簡単な手芸の他、ハンカチに自分の名前を刺繍しました。
- 1月24日（土）「争曲同好会」演奏の鑑賞のほか、実際にお琴にも触れてみました。
- 2月21日（土）「陸上競技部」開校式 からだを動かす遊びをしました。

本学の学生有志によるなでしこキッズスクール実行委員会が、香丘小学校5・6年生を対象に、大学のサークル活動を体験してもらう「なでしこキッズスクール」を開催しました。全8回で延べ137人の小学生が参加されました。子供たちも、学生たちも、交流を大いに楽しんでいました。



### 施設内覧会

日 程：4月13日（日）  
場 所：福岡女子大学

現在、本学ではキャンパス整備を進めており、その第一期工事として完成した図書館棟、スポーツ・キューブ（体育館）、地域連携センター、研究棟の内覧会を開催し、地域の皆様約70名が参加されました。



### 高校生のためのイングリッシュ・キャンプ

日 程：10月11日（土）～12日（日）（1泊2日）  
場 所：福岡女子大学 D棟、国際学友寮 なでしこ（宿泊）、学生会館1階食堂他

福岡女子大学にて、高校1、2年生の女子37名が参加し、イングリッシュ・キャンプを実施しました。当初は、13日（月）までの3日間の予定でしたが、台風接近による天候悪化のため、日程を1日短縮し、12日の午後を終了しました。

講師は、本学学術英語プログラム(Academic English Program: AEP)の担当講師がつとめました。

- ・すべて英語による授業を行いました。
- ・1日目は、留学生へのインタビューを行い、レポートしました。
- ・2日目は、参加者が10グループに分かれて、興味のある国とトピックを決め、プレゼンテーションを行いました。
- ・閉講式では、優れたグループと個人を表彰しました。
- ・参加した高校生は、「国際学友寮 なでしこ」大広間に宿泊しました。
- ・寮見学、英語を使ったゲームや料理作りなどを通じ、留学生や学部生との交流を楽しみました。

また、授業、寮見学、ゲーム、料理作り等で、本学の留学生及び学部生が各種サポートを実施しました。特に、留学生は、授業のインタビュアーに加え、料理作り、ゲームに積極的に参加しました。学部生は、ゲームの進行、寮・学生会館・D棟の教室などの会場設置、授業や料理作りのアシスタント等を行いました。



### おもしろ理科実験教室

日 時：7月28日（月）13:30～16:00  
場 所：福岡女子大学 生活環境材料科学研究室

香丘小学校6年生17名が参加して、おもしろ理科実験教室を開催しました。本学学部4年生（国際文理学部環境科学科）が実験指導を担当しました。

実施した実験内容は次のとおりです。

- (1) 食用油からろうそくを作る
- (2) ペットボトルからせんいを作る
- (3) ケミカルライトが光るしくみを知る
- (4) 顕微鏡で印刷物を観察する
- (5) 高分子吸収材の性能を調べる

本事業は、福岡市東区のコミュニティユース事業に採択され、実施したものです。

参加した小学生の皆さんは、とても熱心に実験に取り組んでいました。



### ひらめき☆ときめきサイエンス

日 時：8月5日（火）10:00～17:00  
場 所：福岡女子大学 学生実験室

平成26年度日本学術振興会の小・中・高校生のためのプログラム、ひらめき☆ときめきサイエンスに採択され、「ナメクジは賢い！～ナメクジの学習行動と脳の仕組み～」を開催しました。

当日は、小学5、6年生を中心に、17名の方にご参加いただきました。

参加者の皆さんは、本プログラム担当の松尾亮太准教授（国際文理学部 環境科学科）からナメクジの脳のはたらきや特徴について学び、先生方や大学生の手伝いのもと、ナメクジの学習行動実験や、ナメクジの脳の摘出を行いました。自分の手を動かして実験結果が得られることの楽しさを体験していただけたようです。

当日は日本学術振興会の方が来られ、ホームページで本プログラムを紹介していただきました。

【主なプログラム】

- 講義：「脳のはたらき」「ナメクジの脳のはたらきと特徴」
- 実習：「ナメクジの学習行動実験」「ナメクジの脳の摘出」「ナメクジの脳液の記録＆研究室探訪」



国際化推進センター共催

### 留学生との交流会（ニューイヤーパーティ） （国際化推進センターと共催）

日 時：1月23日（金）18:30～20:00  
場 所：福岡女子大学 学生会館1階食堂

本学学生会館1階食堂にて、本学国際化推進センターと共催で、留学生との交流会を開催しました。

広く、多くの方が気軽に国際交流できる機会を作ることを目的に、平成23年度より日本人学生・留学生の共同企画で実施しています。平日の夜にもかかわらず、地域の方々・本学同窓会筑紫海会の方々・本学学生・留学生・教職員など、約160名の方に足を運んでいただきました。

交流会では、留学生による歌が披露され、実行委員会の学生によるゲームの際には、来場者全員がグループに分かれ、ゲームに参加しました。

ご来場いただいた方から、交流会をお楽しみいただいた旨のお言葉を頂戴しました。交流会実施にあたり、ご協力・ご支援いただきました皆様、ご来場いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。



# 産学官地域連携部門

産学官地域連携部門は、大学の知的資源を活用し、地域社会の発展に貢献するため、企業や公的機関との共同研究のサポートや、各種セミナー、技術交流会などの実施によって、産学官連携を推進します。また、一方で、地域企業等からの研究に関連した相談の窓口となっています。

## 開催した講演会・セミナー

### 福岡女子大学地域連携センター 2014 年度セミナー「環境政策の歴史と未来」

**日 程**：5 月 27 日（火）  
**場 所**：福岡女子大学視聴覚室  
**講 師**：谷津 龍太郎氏（環境事務次官）  
**参加者**：173 名（学生 129 名、教職員 24 名、市民 20 名）

**内容** 環境省と御自身のこれまでの歩みや環境行政の動向を、国際的な見地から御説明いただきました。未来を担う学生に向けたメッセージも頂戴しました。



谷津龍太郎氏による講演の様子



### 第 348 回国連講演会

#### 「国際協力 60 周年～これまでの日本の国際協力とODA大綱のみなおし～」

**日 時**：6 月 5 日（木）14:40～16:10  
**場 所**：福岡女子大学視聴覚室  
**講 師**：荒木 要氏（外務省国際協力局政策課企画官）  
**参加者**：81 名（学生 10 名、教職員 5 名、市民 66 名）

**内容** 外交ツールとしてのODAの役割と日本にもたらす効果について、過去の経緯から現在に至るまでをご説明いただき、約 10 年ぶりの見直しを行っているODA大綱の今後の方向性についてもお話いただきました。



荒木要氏による講演の様子



### 第 1 回外部資金獲得セミナー（女性研究者支援室と共催）

**日 時**：7 月 24 日（木）16:20～17:50  
**場 所**：福岡女子大学地域連携センター セミナー室 2  
**講 師**：上瀧 恵理子氏（九州大学 研究戦略企画室）

**内容** 「研究費はなぜ必要なのか」という前提から、科研費に焦点を絞った申請書作成にあたっての留意事項など具体的な内容まで幅広くご説明いただきました。ゼミナール形式で開催しました。



第 1 回外部資金獲得セミナーの様子



## 第 2 回外部資金獲得セミナー(女性研究者支援室と共催)

日 時：9月16日(火)  
 【第一部】14:40～15:40、【第二部】15:50～16:50  
 場 所：福岡女子大学地域連携センター セミナー室2  
 参加者：28名(教職員28名)  
 【第一部】講演会「科研費の審査員はどこを見るのか？」  
 講 師：伊藤 悦朗氏(徳島文理大学 香川薬学部教授)  
 【第二部】科研費説明会 事務担当者(財務管理班・地域連携班)

**内容** 第一部の講演会では、審査員の着眼点や申請の際のポイントなど実践的なアドバイスを多く含んだ内容で御講演いただきました。第二部は、事務担当職員から、今年度の事務手続き等の説明を行いました。



第 2 回外部資金獲得セミナーの様子

## 産学官地域連携セミナー「食と健康を考える 2014」

日 時：10月24日(金) 14:20～18:00  
 場 所：福岡ビジネス創造センター  
 参加者：59名(学生47名、教職員4名、市民8名)

### <講演 1> 「母親の食事と母乳への影響」

講 師：進 淳子氏  
 (ピーンスターク・スノー株式会社 チーフ栄養士)

**内容** 妊娠期から授乳期にかけて十分に摂りたい栄養素、乳幼児アレルギー等に関する最新の研究などをご紹介します。

### <講演 2> 「食生活とがん」

講 師：井上 聡美氏  
 (独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 栄養管理室長)

**内容** 禁煙、節酒、食生活を見直す、適正体重を維持する等、がんのリスクを低下させる生活習慣を中心に講演いただきました。



<講演 1>の様子



<講演 2>の様子

## 第 12 回産学官技術交流会「我々の暮らしとPM2.5」

日 時：11月21日(金) 14:40～18:00  
 場 所：福岡女子大学地域連携センター セミナー室2  
 参加者：85名(学生50名、教職員16名、市民19名)

**内容** 化石燃料の燃焼や自動車などから排出されるPM2.5は、その健康リスクについても問題視されています。PM2.5の基本的な情報から健康に及ぼす影響等に関する研究、国内外で講じられている対策や最新の技術など、産・学・官それぞれの立場からご説明いただきました。

### <基調講演> 「PM2.5 その性状と対策」

講 師：笠原 三紀夫氏(京都大学 名誉教授)

### <講演 1> 「室内空間におけるPM2.5と健康有害性」

講 師：馬 昌珍氏(福岡女子大学 国際文理学部准教授)

### <講演 2> 「中国における環境の現状」

講 師：張 艶氏(福岡女子大学 国際文理学部准教授)

### <講演 3> 「PM2.5の現状と対応について」

講 師：黒川 陽一氏(福岡県保健環境研究所 環境科学部部长)

### <講演 4> 「揮発性有機溶剤(VOC)とPM2.5」

講 師：黒田 彩子氏(株式会社西部技研 主任)



<基調講演>の様子

## 産学官地域連携部門



＜講演 1＞の様子



＜講演 2＞の様子



＜講演 3＞の様子



＜講演 4＞の様子

### 知的財産権セミナー

日時：3月5日（木）13:00～14:30  
場所：福岡女子大学地域連携センター セミナー室 2  
講師：園 真規氏（隅法律事務所 弁護士）  
参加者：22名（教職員 21名、関係団体 1名）

**内容** 「教育現場における著作権」をテーマに、事例を交えた具体的な解説をしていただきました。



知的財産権セミナーの様子

### 参加した展示会

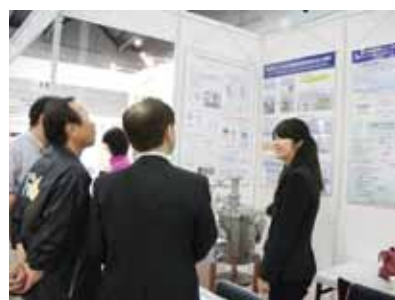
#### 「エコ・ベンチャー・メッセ 2014」

期間：10月8日（水）、9日（木）、10日（金）  
場所：西日本総合展示場新館

**内容** エコ・ベンチャー・メッセ 2014（地球環境・新エネルギー技術展&セミナー）のブースに、日頃の研究成果をまとめたパネルを展示しました。食・健康学科の石川洋哉准教授、株式会社ワコー、西九州大学の共同研究による縦型スパイラル式連続真空乾燥技術を用いたマイクロ波乾燥装置の展示も行いました。



エコ・ベンチャー・メッセ 2014  
福岡女子大学出展ブースの様子 1



エコ・ベンチャー・メッセ 2014  
福岡女子大学出展ブースの様子 2

## その他

### 「パブリック・ガバナンス改革推進協議会」の設置

11月6日（木）、関電システムソリューションズ株式会社と新日本有限責任監査法人と共に、福岡県下や大阪府下の6つの地方自治体が参画し、産官学が一体となった「パブリック・ガバナンス改革推進協議会」を設置しました。

行政内部の各組織が政策立案・評価までの財務情報や非財務情報の様々な角度からの見える化を図り、ビックデータを様々な角度から活用することで、首長によるトップマネジメント（ガバナンス）、投資対効果を最大化する行財政運営、議会・市民等からの評価・監視体制の強化等の取り組みを進め、行政経営の高度化を目指します。



パブリック・ガバナンス改革推進協議会の様子

### 都市再生機構九州支社（UR都市機構九州支社）との連携協定締結

11月25日（火）、都市再生機構九州支社と連携協定を締結しました。

UR賃貸住宅及びその周辺地域における少子化・高齢化等の問題に対応する取組を協働して実施し、健康福祉の増進、良好なコミュニティの形成など地域の活性化に貢献することを目的としています。

UR香椎若葉団地の1住戸を環境科学科の演習の題材として提供していただき、学生が提案したリノベーションプランに基づく工事が実際に行われました。他に冬季の入浴環境調査をはじめとして、今後も「健康」「環境」「コミュニティ」をテーマにした連携企画を検討してまいります。



連携協定調印式の様子



UR香椎若葉団地リノベーション工事後の住戸

## 共同研究・受託研究等に係る外部資金獲得の状況

種 別	件 数	金 額
共同研究	9	3,170,000 円
受託研究	6	2,939,052 円
寄附金	11	7,100,000 円
科学研究費助成事業（日本学術振興会） 研究代表者分	26	37,925,842 円
科学研究費助成事業（日本学術振興会） 研究分担者分	16	7,254,000 円
厚生労働省科研費 研究分担者分	1	600,000 円
平成 26 年度科学技術人材育成費補助事業 「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」（文部科学省）	1	27,992,998 円
平成 26 年度「高度人材育成のための社会人学び直し大学院プログラム」（文部科学省）	1	6,852,003 円
計	71	93,833,895 円

# 女性生涯学習研究部門

女性生涯学習研究部門では、年間を通して様々な公開講座・講演会を実施しています。性別・年齢を問わず受講できますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

## 公開講座・講演会一覧

事業名称	講演概要	講座数	実施日数	延べ受講者数
福岡女子大学公開講座	<b>「運動と食事による健康づくり講座ー生き生き人生を送るためにー」</b> (5/31、6/7、6/21、6/28、7/5) ① 5月31日(土)「長寿社会における健康づくりについて」 金崎 良三(福岡女子大学教授) ② 6月7日(土)「バランスの良い食事を考えてみましょう」 片桐 義範(福岡女子大学准教授) ③ 6月21日(土)「運動・スポーツをどのように生活化するか」 金崎 良三(福岡女子大学教授) ④ 6月28日(土)「賢く食べて健康にー何を、いつ食べるかー」 江頭和佳子(福岡女子大学助手) ⑤ 7月5日(土)「【実技】手軽にできる健康・体力づくりのための運動」 金崎 良三(福岡女子大学教授)	5	5	112
	<b>「持続可能な社会への取り組み」</b> (6/14、7/12、8/23、9/13) ① 6月14日(土)「生きものを用いた海の健康診断」 山田真知子(福岡女子大学教授) ② 7月12日(土)「日本・アジアの湿地と人々の暮らし:「開発」を考える」 岩崎 慎平(福岡女子大学講師) ③ 8月23日(土)「水俣条約についてーなぜ今水銀なのか?」 岡山 俊直(福岡女子大学准教授) ④ 9月13日(土)「PM2.5、その真相は?」 馬 昌珍(福岡女子大学准教授)	4	4	94
	<b>「Learning through English: Education, Culture and Communication」</b> (6/21、6/28、7/5) [定員] 先着 20名 [対象] 英語で日常会話ができる方、もしくは TOEIC400 点以上の方 董 維真(福岡女子大学講師)	3	3	35
	<b>「郭沫若の日本亡命」</b> (10/23) 武 継平(福岡女子大学教授)	1	1	35
	<b>「ヨーロッパの文化と歴史」</b> (11/8、12/13、1/10、2/14) ① 11月8日(土)「イギリスと言語」 村長 祥子(福岡女子大学准教授) ② 12月13日(土)「「大いなる遺産」の遺産」 宮川美佐子(福岡女子大学准教授) ③ 1月10日(土)「第1次世界大戦(1914-1918)とは何だったのか?」 馬場 優(福岡女子大学准教授) ④ 2月14日(土)「どうして研究が楽しいのかーフランス・ジャンセニスムの場合ー」 御園 敬介(福岡女子大学准教授)	4	4	199
	<b>「ジェンダーとエスニシティで見るアメリカ文学の女性たち」</b> (11/22) 徳永紀美子(福岡女子大学教授)	1	1	32
連携公開講座	<b>東部地域大学連携公開講座(シンポジウム)「官兵衛がめざしたもの~その生涯から学ぶ~」</b> (10/10) 主催:福岡市 企画運営:東部地域大学連携(福岡女子大学・九州産業大学・福岡工業大学) 協賛:株式会社如水庵 ①基調講演「黒田官兵衛の生涯と人間形成」 中山喜一朗氏(福岡市美術館運営部長) ②パネルディスカッション「官兵衛がめざしたもの」 パネリスト 森 悦次郎氏(株式会社如水庵代表取締役社長) 月野 文子(福岡女子大学教授) 渡邊 雄二(九州産業大学教授) コーディネーター 上寺 康司(福岡工業大学教授) コメントーター 中山喜一朗氏(福岡市美術館 運営部長)	1	1	245
	<b>福岡県立3大学連携県民公開講座「食べる・噛む・生きる」</b> (10/17、11/12、12/12、1/23) 主催:福岡県立3大学(九州歯科大学・福岡女子大学・福岡県立大学) 共催:福岡県 ① 10月17日(金)「お口のケアで家族イキイキ」 久保田浩三(九州歯科大学准教授) ② 11月12日(水)「『共食』の国際的文化的価値と「孤食/個食」を巡る問題点」 水元 芳(福岡女子大学准教授) ③ 12月12日(金)「ペアレントトレーニングによる家族の子育て支援」 福田 恭介(福岡県立大学教授) ④ 1月23日(金)「【冬の感染症の予防と対策】「手洗い」と「うがい」で冬の感染症を予防しよう!」 吉田まり子(福岡県南筑後保健福祉環境事務所保健衛生課 医師)	4	4	398
	<b>統計解析ソフトウェア R の勉強会@福岡 (fukuoka.R #2)</b> (7/12) 主催:R 勉強会@福岡 共催:福岡女子大学地域連携センター ①「入門編の振り返り」 藤野 友和(福岡女子大学講師) ②「Rによる統計グラフィックス」 藤野 友和(福岡女子大学講師) ③「kintone REST API client package for R」 山下 竜氏(ニシム電子工業株式会社(現株式会社ジョイソ))	3	1	20
連携講演会	<b>fukuoka.R #3 + データマイニング勉強会</b> (1/24) 主催:R 勉強会@福岡 共催:福岡女子大学地域連携センター ①「Rのインストールと入門編の復習」 藤野 友和(福岡女子大学講師) ②「basic verbs in dplyr (dplyrパッケージのチュートリアル)」 服部 恒太氏	2	1	30
	<b>福岡女子大学特別講演会「志賀島の歴史浪漫」</b> (9/27) 主催:福岡女子大学、福岡女子大学同窓会筑紫海会 ※志賀島を巡るバスツアー 平澤 憲子氏(志賀海神社権禰宜)	1	1	46
	<b>福岡女子大学特別講演会「ベニシアさんのフィールド~イギリスから京都大原へ~」</b> (3/14) 主催:福岡女子大学、福岡女子大学同窓会筑紫海会 ベニシア・スタンリー・スミス氏(ベニシアインターナショナル)	1	1	420
<b>合 計</b>		<b>30</b>	<b>27</b>	<b>1,666</b>

# 福岡女子大学公開講座

## 「運動と食事による健康づくり講座 －生き生き人生を送るために－」

長寿社会の到来を背景に、運動・スポーツと食事による健康づくりの意味や意義、方法を学び、どのように生活に取り入れていけばいいかについて考察しました。また、最終回には、場所をスポーツキューブ（体育館）に移し、ストレッチやヨガ等の実践を行いました。



## 「持続可能な社会への取り組み」

環境科学科各コース（環境物質、環境生命、環境生活、国際環境政策）の教員 1 名ずつが、それぞれの研究内容について紹介しました。研究で使用する採集器具や実験器具等の使い方を実演した回もあり、大変好評でした。

## 「*Learning through English : Education, Culture and Communication*」

福岡女子大学では、平成 24 年度から英語能力向上を目指す方向けの講座を開催しています。昨年度に引き続き、平成 23 年度に設置された国際文理学部の特色の一つである、学術英語プログラム（AEP : Academic English Program）の教員が講師を担当しました。



## 「郭沫若の日本亡命」

平成 24 年度公開講座「中国人講師による現代中国講座」の第 1 回「中国現代文学と九州－郭沫若の例を中心に－」、平成 25 年度公開講座「続・中国現代文学と九州－郭沫若の例を中心に－」の続編です。今回は、郭沫若の日本へ亡命の理由やその亡命生活について紹介しました。

## 「ヨーロッパの文化と歴史」

「ヨーロッパ」をキーワードに、各国の言語、文学、政治、思想等について、それぞれの研究内容から紹介しました。



## 「ジェンダーとエスニシティで見る アメリカ文学の女性たち」

フェミニズム運動等の歴史的背景が、その時代の文学にどのように影響を与えたか、複数の文学を取り上げて紹介しました。

# 女性生涯学習研究部門

## 連携公開講座・講演会

福岡女子大学・九州産業大学・福岡工業大学

### 東部地域大学連携公開講座 (シンポジウム)

#### 「官兵衛がめざしたもの～その生涯から学ぶ～」

福岡東部地域に位置する福岡女子大学、九州産業大学、福岡工業大学は、平成 23 年 11 月に東部地域大学連携協定を締結し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的とした取り組みを行っています。

その一環として、平成 24 年度から公開講座を開催しており、平成 26 年度は、大河ドラマで話題の「黒田官兵衛」をテーマに、その生涯を概観し、官兵衛がめざしたものについてシンポジウム形式で迫りました。会場となった福岡工業大学 C 棟地下ホールは、熱心な受講者で満員となり、大変盛況な公開講座となりました。



基調講演



パネルディスカッション

九州歯科大学・福岡女子大学・福岡県立大学・福岡県

### 福岡県立 3 大学連携県民公開講座

#### 「食べる・噛む・生きる」

福岡県が設置した公立大学法人である九州歯科大学、福岡女子大学、福岡県立大学は、福岡県と連携し、県民の健康維持・増進に貢献することを目的として、平成 24 年度より、県内 4 地域（福岡・北九州・筑豊・筑後）で、公開講座「食べる・噛む・生きる」を開催しています。

平成 26 年度は、昨年度までのアンケートから「講演をもっと詳しく聞きたい」という声を受けて、講演を 1 演題に絞り、より内容について深めていただけるように変更しました。

各会場とも、「家族」を共通のキーワードにそれぞれの観点から講演を行い、続くディスカッションでも活発な意見交換が行われました。



北九州会場：講演



福岡会場：座談会

地域	会場	福岡女子大学登壇者	
筑豊	福岡県立大学	—	
北九州	九州歯科大学	講演	水元 芳 (福岡女子大学准教授)
福岡	福岡女子大学	座談会	森 邦昭 (福岡女子大学教授)
		[座長]	鈴木 有美 (福岡女子大学准教授)
筑後	えーるピア久留米	パネルディスカッション	
			吉村 利夫 (福岡女子大学教授)

福岡女子大学・福岡女子大学同窓会筑紫海会

### 福岡女子大学特別講演会

福岡女子大学と本学同窓会筑紫海会（つくしみかい）では、平成 24 年度より、多くの女性のロールモデルとなるような、国内外で活躍する女性リーダーを招聘した特別講演会を開催しており、平成 26 年度は、次の 2 講演を開催しました。



講師：平澤 憲子氏

#### 「志賀島の歴史浪漫」

9 月 27 日（土）に、本学卒業生で志賀海神社権禰宜の平澤 憲子氏に、志賀島内のご案内及び講演講師をご担当いただき、バスツアーを開始しました。平澤氏は、志賀海神社の権禰宜として古代から続く祭事を守りながら、地域の方々との交流等、様々な活動に積極的に取り組まれています。

今回は、志賀海神社、勝馬宮、金印公園をご案内いただくとともに、「志賀海神社と女性神職～代々伝わる宮司家を継いで～」と題した講演で、志賀海神社のご紹介及び女性神職の歴史と現状をお話いただきました。



講演



講演

#### 「ベニシアさんのフィールド～イギリスから京都大原へ～」

3 月 14 日（土）に、ベニシア・スタンリー・スミス氏を講師にお招きした講演会を開催しました。ベニシア氏は、京都で英会話スクールを経営される他、大原において、ハーブやガーデニングを中心とした手作りの暮らしを送られており、そのライフスタイルを様々な形で紹介されています。

今回の講演会では、生き立ちを始めとしたこれまでの歩みや、現在の暮らしについてお話いただきました。歌あり、クイズありの講演の他、会場からの質問にも多数お答えいただきました。



講師：ベニシア・スタンリー・スミス氏

## 福岡女子大学基金 学 | 術 | 研 | 究 | 助 | 成 | 金

福岡女子大学では、福岡女子大学学生・卒業生による研究に対し、1件5万円の学術研究助成金を交付しています（公募枠）。また、修士・博士課程2年生で、各専攻の推薦を受けた学生に対しても、1件3万円（各専攻1名）の助成金を交付しています（推薦枠）。

募集期間は、毎年5月1日～5月31日です。ご興味をお持ちの方は、福岡女子大学または地域連携センターのホームページ等でご確認ください。

..... 平成26年度の交付について .....

### <公募枠研究助成>

審査の結果、次の2件の研究に対し、助成金を交付しました。

石田 由希（平成26年3月 福岡女子大学大学院 文学博士号取得）

「劇作家サラ・ケインの戯曲・上演研究」

川邊 麻希子（福岡女子大学 国際文理学部国際教養学科2年）

「女子割礼に隠されたアフリカ女性への差別と異文化理解について」

### <推薦枠研究助成>

各専攻から次の4件の推薦があり、審査の結果、この研究に対し助成金を交付しました。

（英文学専攻は該当者無のため交付はありません）

今林 美穂（福岡女子大学大学院 文学研究科 国文学専攻2年）

「清水紫琴の「恋愛」観と「結婚」観－『女學雑誌』から芽吹いたもの」

石井 優実（福岡女子大学大学院 人間環境学研究科 環境理学専攻2年）

「シロイヌナズナの光ストレスにおけるFIB5遺伝子の役割」

小濱 友紀子（福岡女子大学大学院 人間環境学研究科 栄養健康科学専攻2年）

「食品・天然物の抗酸化活性評価に関する基礎的研究」

橋詰 倫恵（福岡女子大学大学院 人間環境学研究科 生活環境学専攻2年）

「木質バイオマスの低温炭化材におけるアルカリ除去挙動」

## 地域連携センターセミナー室の利用案内

本学の授業、行事及び課外活動に支障のない範囲で、学外の方も地域連携センターのセミナー室を御利用いただけます。

利用を希望する方は、許可申請書により申込をしていただく必要があります。原則、利用したい日の属する月の3ヶ月前から、使用日の2週間前まで申請を受け付けており、使用料を負担していただいています。

詳しくは、地域連携センターまでお問い合わせください。



## 平成 27 年度 公開講座のご案内

### スポーツと文化について学ぶ

時 間：10：00～11：30 受講料：無料

回	日 程	テーマ	講 師
1	5月30日(土)	文化とスポーツはどのように捉えられてきたか？	金崎 良三(福岡女子大学教授)
2	6月6日(土)	スポーツ文化の具体的内容について	金崎 良三(福岡女子大学教授)

### Learning through English: Culture and Communication

時 間：13：30～15：00 受講料：2,000円(全4回分) ※高校生・本学学生無料

定 員：先着15名 対 象：TOEIC400点以上もしくはそれと同等の英語力をお持ちの方

回	日 程	テーマ	講 師
1	5月30日(土)	Learning through English: Culture and Communication	董 維真(福岡女子大学非常勤講師)
2	6月6日(土)		
3	6月27日(土)		
4	7月11日(土)		

### 暮らしを豊かにするために－光・住まい・生活－

時 間：13：30～15：00 受講料：2,000円(全6回分) ※高校生・本学学生無料

回	日 程	テーマ	講 師
1	6月7日(日)	生活の中にある光とその特性を知る	森田 健(福岡女子大学教授)
2	6月14日(日)	人のこことからだに及ぼす光の影響	森田 健(福岡女子大学教授)
3	6月21日(日)	健康に住まう知恵 1. 上手な冷暖房	大中 忠勝(福岡女子大学教授)
4	6月28日(日)	健康に住まう知恵 2. 安全で快適な浴室と入浴	大中 忠勝(福岡女子大学教授)
5	7月5日(日)	日常生活におけるプラスチック	吉村 利夫(福岡女子大学教授)
6	7月12日(日)	紙おむつのあれこれ	吉村 利夫(福岡女子大学教授)

### 後に続く女性たちへ－秋枝先生からのメッセージを受けて－

時 間：13：00～14：30 受講料：無料

コーディネーター：森 邦昭(福岡女子大学教授) 座 長：鈴木 有美(福岡女子大学准教授)

回	日 程	テーマ	登壇者
1	7月21日(火)	学生の立場から	福岡女子大学学生
2	11月17日(火)	教職員の立場から	福岡女子大学教職員
3	2月20日(土)	卒業生の立場から	福岡女子大学卒業生

### 知の発信－福岡女子大学研究紹介－

時 間：13：30～15：00 受講料：1,000円(全4回分) ※高校生・本学学生無料

回	日 程	テーマ	講 師
1	11月7日(土)	ナメクジの驚くべき能力	松尾 亮太(福岡女子大学准教授)
2	12月12日(土)	和食ブームと日本の農業の未来～食材輸出は日本農業の救世主となるか!?～	新開 章司(福岡女子大学准教授)
3	1月9日(土)	新蘭学事始～戦後70年、オランダ社会の過去との向き合い方～	吉田 信(福岡女子大学准教授)
4	2月13日(土)	韓国における「反日問題」の背景にあるもの	岡 克彦(福岡女子大学教授)

### 異文化への招待－国境や文化を越えて－

時 間：13：30～15：00 受講料：1,000円(全4回分) ※高校生・本学学生無料

回	日 程	テーマ	講 師
1	1月31日(日)	世界と出逢う～大学教育の今日的課題と海外体験学習	和栗 百恵(福岡女子大学准教授)
2	2月7日(日)	バングラデシュにおけるグラミン銀行の貧困緩和の方法	チョウドリ マハブブル アロム (福岡女子大学教授)
3	2月14日(日)	スリランカの国内社会における紛争と和解： 新しい民主主義とガバナンスの可能性	パスマシリ・ジャヤセーナ (福岡女子大学准教授)
4	2月21日(日)	文学・映画における食生活描写の文化的意義	スコット・ピュー(福岡女子大学教授)

\*上記の他、特別講演会や他大学との連携公開講座が開催されます。詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。

#### 【備 考】

- \*性別・年齢を問わず受講できます。
- \*会場は、福岡女子大学地域連携センターを予定しています。
- \*学内には駐車場がございませんので、恐れ入りますが公共交通機関をご利用ください。
- \*悪天候等により、講座日時が変更になる場合があります。詳細はお電話等でお問い合わせいただくか、ホームページをご確認ください。

#### 【申込方法】

- \*E-mail、Fax、葉書のいずれかに、①希望講座名、②氏名(フリガナ)、③住所、④電話番号、⑤年齢、⑥Fax番号(Fax申込の方)をご記入の上、地域連携センターまでお申込みください。お電話でも受け付けております。
- \*受講証は発行していません。また、定員のある講座のみ参加可否をお知らせしています。(定員のない講座は申し込んだ方全員が参加できます)

●センター内託児室にて、託児サービスを行っています(業者委託/先着5名)。利用を希望される方は、講座開催日の10日前(土日祝除く)までに、直接委託先へお電話ください。※費用は大学が負担します。

<委託先> (株) テノ・コーポレーション  
〒812-0036 福岡市博多区上呉服町10-10  
☎0120-8000-29 (受付時間：平日9時～19時)

■お申込み・お問い合わせ 福岡女子大学 地域連携センター 〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1  
TEL：092-661-2728(直通) / Fax：092-692-3220  
E-mail：rclc@fwu.ac.jp URL：http://www.fwu.ac.jp/collaboration/

★ご提供いただいた個人情報は、公開講座等の実施・運営、地域連携センターからのご案内等に使用させていただきます。他の目的には使用いたしません。

【発行】福岡女子大学地域連携センター